

The Tavistock and Portman

NHS Foundation Trust



遊びの中で私たちは以下の事を学びます

探索

注目

集中

注意を向ける

誰かのまねをする

新しいことに挑戦する

同じことを何百回もする

自分の気持ちを知る

他の人を知る

自分に何ができるかを知る

交代する

(何かの) ぶりをする

待つ

想像する

.....



大人の眉毛や舌の動きまねするのは、かなり小さな赤ちゃんでも楽しむことができる遊びです。

“いっぽんばし”のようなくすぐり遊びは、成長中の赤ちゃんにとってはワクワクすることでしょう。ただ赤ちゃんが目をそらしたり、無表情になったりしたときは、次のやり取りの準備のために少し“休む時間”を持つのが良いかもしれません。

“いないいないばあ”や“かくれんぼ”は、人が来たり、いなくなったりすることについての感情を、子どもが扱っていくのに役立つ遊びです。すぐに子どもは、何かを隠したり、その時にあなたがどのような反応するのかを見て、遊んだりするようになるでしょう。

赤ちゃんは、カバンや引き出しを空っぽにするのが好きです。これを一緒に楽しんで遊びにしてみましょう。

いくつかのおもちゃを見せて、子どもの発見に気づいてあげることで、子どもは好奇心を刺激され、安全な方法で世界を学ぶことができるようになるでしょう。

粘土、砂、絵の具、のりなどを使ってぐちゃぐちゃに遊んだりすることができる環境があると、子どもたちが新しいことに挑戦する自信を持つのに役立ちます。

お風呂の時間は、水がどのようなものか探求し、はじめての実験をするのに最適な時間です。

リズムカルな言葉や歌は、言葉の学習の最初の段階として役に立ちます。

人形や小さな動物のおもちゃでの遊びを通して、子どもは自分の気持ちを言葉にしたり、思いついたことを試したりすることができます。



1. 子どもの遊びを見守りましょう。そうすれば、子どもからいろいろなアイデアが得られます。
2. 定期的に子どもと「特別な遊びの時間」を持ちましょう。子どもに主導権をもたせて、遊びに誘われるまで待っていきましょう。
3. 子どもが想像力を発揮できるようにシンプルなおもちゃを使いましょう。
4. テレビやタブレットなどのない、静かな場所を用意しましょう。
5. 子どもが新しい活動に切り替えられるように、一緒に歌を歌って手伝いましょう。
6. 子どもが描いた絵は、特別な場所やフォルダーに保管しましょう。
7. 一緒に遊ぶことが難しいと感じたら、家族の他の大人や保健師に話してみましょう。